

寄附講座の設置について

寄附講座の名称

睡眠医学寄附講座

設置部局

人間総合科学研究科

概 要

サニーヘルス株式会社及びフジ・レスピロニクス株式会社の2社から奨学寄附金を受入れ、人間総合科学研究科に睡眠医学寄附講座を開設します。本寄附講座では、睡眠予防医学及び睡眠呼吸障害医学領域の専門家2名を招へいし、人間総合科学研究科に睡眠医学概論、睡眠予防医学、睡眠呼吸障害医学に関する授業科目を開講します。また、睡眠呼吸障害の発症要因、睡眠呼吸障害の発症予防、睡眠呼吸障害の予防システムの開発、睡眠呼吸障害の病態生理、睡眠呼吸障害の臨床治療の研究を行います。なお、本寄附講座との連携を踏まえた睡眠医学研究推進プロジェクト（平成17年度概算要求）を設置する予定です。

設置期間

平成17年4月～平成19年3月（2年間）

寄附金額

総額 6,000万円（3,000万円×2年間）

目 的

筑波大学人間総合科学研究科において睡眠予防医学と睡眠臨床医学を2本柱とする教育および研究体制を確立し、睡眠障害全般の予防、早期発見、臨床治療に関する教育と研究の発展に貢献します。

寄附講座設置による波及効果等

睡眠医学に関連する基礎・予防・臨床にわたる広範囲な分野の教育と研究の活性化が挙げられます。特に、大学院生等に対し包括的な睡眠医学教育の提供ができ、より多くの研究者の養成が可能となります。

また、職域の安全確保を目的とした産業医学上の研究、生活習慣病の予防を目的とした臨床・公衆衛生学的研究、睡眠障害の病態生理の解明を目的とした基礎研究の発展が期待できます。

そして、睡眠呼吸障害の早期発見に関するガイドラインを提示でき、国の行政施策に反映することができます。

本寄附講座の照会先

人間総合科学研究科教授 磯 博康 TEL:029-853-2695

e-mail:fvgh5640@mb.infoweb.ne.jp

助教授 谷川 武 TEL:029-853-6004

e-mail:Tt9178@aol.com

睡眠医学寄附講座の必要性と概要

背景

国民の2～4割が睡眠障害
睡眠時無呼吸症候群の患者数は200万人以上と推定

睡眠障害克服の緊急度

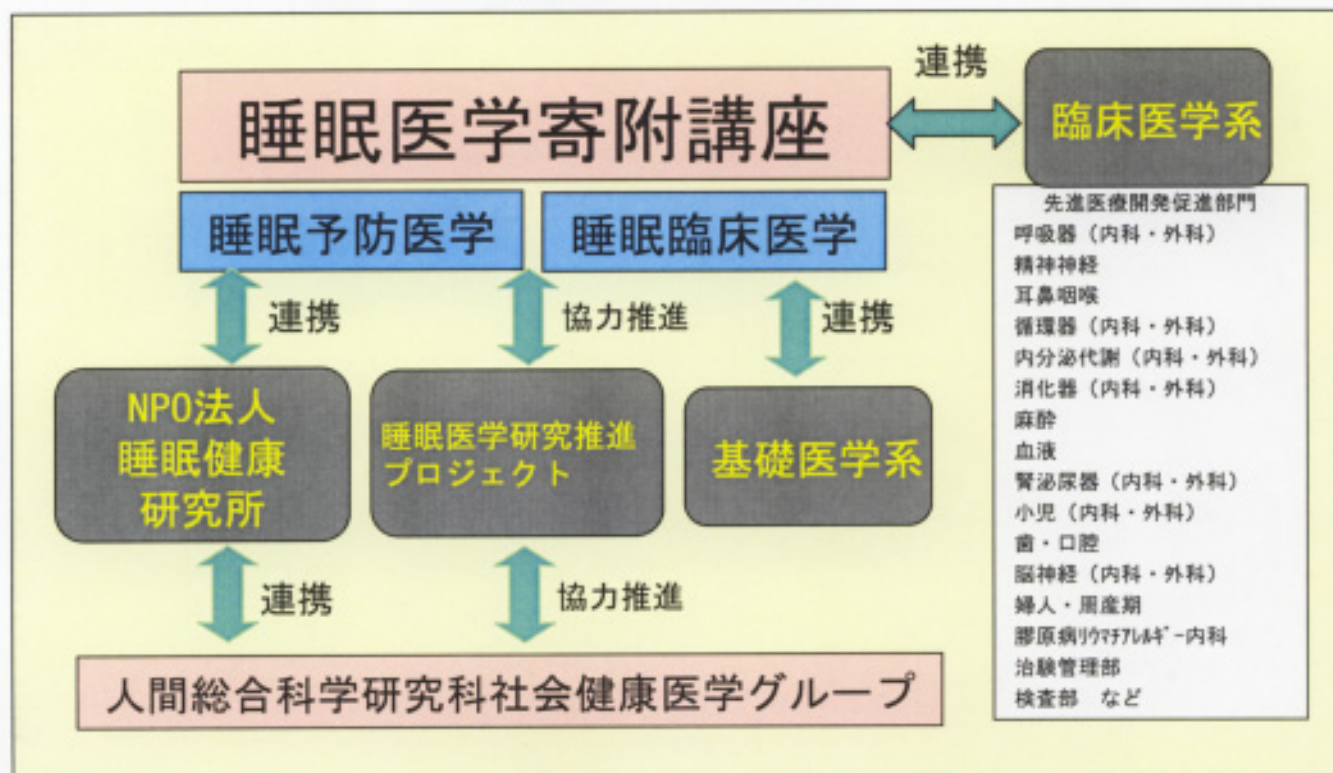
- ・新幹線運転士・旅客機の機長の居眠り事件
- ・大型トラックによる交通事故の多発
- ・その他の産業・交通災害の発生

現状

- ・睡眠医療（検査・治療）の施設・専門家の圧倒的な不足
- ・睡眠予防医学（スクリーニング）の未整備
- ・睡眠医学に関する教育の未整備

国民の安全・健康向上のために睡眠呼吸障害全般
（特に睡眠時無呼吸症候群）の予防から治療を
包括的に行うための教育と研究推進

が重要かつ急務



睡眠医学研究推進プロジェクトの必要性と概要

背景

- ・国民の2～4割が睡眠障害
- ・睡眠時無呼吸症候群の患者数は200万以上と推定

睡眠障害克服の緊急性

- ・新幹線運転士・旅客機の機長の居眠り事件
- ・大型トラックによる交通事故の多発
- ・その他の産業・交通災害の発生

現状

- ・睡眠医療(検査・治療)の施設・専門医の圧倒的な不足
- ・睡眠予防医学(スクリーニング)の未整備
- ・睡眠医学に関する教育体制の未整備

国民の安全・健康向上のために睡眠障害全般
(特に睡眠時無呼吸症候群)の予防から治療を
包括的に行うための研究推進

が重要かつ急務

筑波大学における睡眠医学研究の基盤整備状況

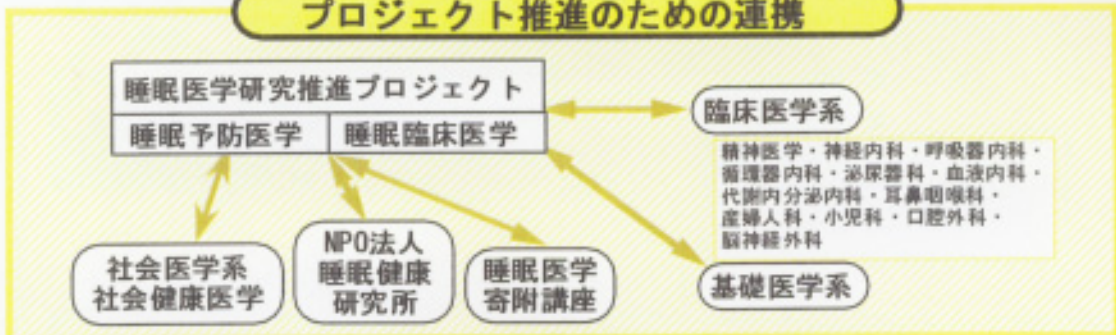
基礎医学

- ・オレキシン発見等の国際的な研究業績

予防医学

- ・睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング法の開発

プロジェクト推進のための連携



プロジェクトの概要

